

炬火名一覧

作品番号	炬火名	炬火名に込めた思い（命名理由）
1	潮風きらめき 夢ひろがる 八戸の火	八戸の海から吹く潮風と、青くきらめく海の光を表現しました。そのきらめきが、人々の夢を照らし、未来へと大きくひろがっていく姿を重ねています。市民一人ひとりの想いが集まり、心をひとつにする「八戸の火」となることを願い命名しました。
2	煌めく海 市制100年への歩みつなぐ八戸の火	八戸の種差海岸の海は、きらきらと輝き美しく全国に誇れる自慢です。また、八戸市は、もうすぐ市制施行100年を迎える事を踏まえ、さらに未来に誇れるマチになってほしいという願いを込めて命名しました。
3	強く・明るく・やさしく八戸の火	国スポに参加する為に毎日トレーニングをして強くなられた皆様、苦しい時も明るく前向きに過ごされた皆様、そして一番大切な優しい心を持って八戸の地で競い合っていたいただきたいと命名致しました。
4	人から人へ 感謝と財産の火	地震の時でも普段でも、自分1人では絶対に成功しないし生きては行けない。人との出会いは自分の財産となり、そこに絶対必要なのは感謝だから
5	潮風つなぎ 輝きあふれる 未来の火	八戸市は太平洋に面し、潮風が心地よく吹き抜けるまちです。この「潮風」は、八戸市の自然環境を象徴するとともに、八戸の自然と人々が織りなす温かい絆を表現しています。「つなぎ」という言葉には、市民一人ひとりが手を取り合い、地域が一つとなって未来へ向かう姿を込めました。また、「輝きあふれる未来の火」には、選手たちの挑戦と努力が光となり、地域全体を照らし、希望と未来へと広がっていくイメージを重ねました。この火が、八戸の人々の思いと情熱が次世代へと引き継がれ、国スポ開催を通じて、八戸がますます輝く未来を切り開いていくことを願っています。
6	そよぐ緑と波立つ海 未来へ紡ぐ 希望の火	種差海岸をイメージしながら未来へと繋がりそうな炬火名を考えた。風に揺れる緑(芝生)は平穏な日々を、波立つ海は時に立ち向かう逆境を表している。八戸市民は自然災害に遭っても乗り越えて生活していることから、それが未来へと繋がり、明るい八戸市になって欲しいという意味を込めた。
7	輝く海 人々の願い 光を照らす 古代の火	八戸市の海はとてもきれいで自慢の海です。その海は昔の人々からの願いから守られてきた八戸市民の心の光を照らすシンボルだからです。

炬火名一覧

作品番号	炬火名	炬火名に込めた思い（命名理由）
8	青の森 海の煌めき 命の希望 八戸の火	自然豊かな八戸市。中でも八戸市の海は八戸市民のシンボルです。海からいただく命から生かされている私たちの命、火の力となり輝いて力を発揮して欲しいという願いをこめました。
9	いかなるときにも、未来に希望の火	八戸のキャラクター いかずきんに基づいて イカという文字を使った どんな状況でも どんな時でも 選手たちに希望という名の火が 心に灯されるように
10	八戸から、果てなく広がるつながりの火	八戸の「八」は「末広がり」を意味し、算用数字の「8」は「∞(無限)」にも通じます。そこから「果てなく」「広がる」という言葉に、未来へ続く広がりを含めました。 また「つながり」には、人の温かさや人と人との結びつきを大切にする地域性・市民性を込めています。 この炬火は、多くのつながりが生まれ、それがいつまでもどこまでも広がっていく——そのきっかけとなる八戸を象徴する火です。
11	青い森の地から未来へ続け絆の火	東日本を忘れない気持ちを込めました
12	八戸に 光を灯せ 氷都の火	八戸にもっと明かりを灯して八戸を活性化させたいと思ったから。
13	希望と挑戦と未来の火	希望を持ち 挑戦をして 未来への思いを 心に刻むという意味です。

炬火名一覧

作品番号	炬火名	炬火名に込めた思い（命名理由）
14	海風にのせて未来へつなぐ八戸の希望の火	八戸は海が近くて海風をよく感じられる町だと思うので「海風」という言葉を入れました。そして、国スポの火がみんなの思いをのせて未来へつながってほしいと思って、「未来へつなぐ」という言葉を入れました。八戸から希望の気持ちが広がってほしいという願いをこめて、この名前にしました。
15	みんなの笑顔あふれる明るい未来の火	みんなの笑顔で日本の未来を明るくしたいという思い
16	太平洋に導かれ 集う光に 舞う大輪の火	太平洋を広く望む八戸と切磋琢磨した選手たちが集う様子をイメージしました。舞うというのはえんぶりや神楽などの伝統から連想し、大輪のように輝き燃え上がる炎を祈り命名しました。
17	イサバ酒場巡れば皆友 氷都八戸温もりの火	八戸のイメージとして、朝市・みろく横丁は根強いかと思いますが、最近は冬季国体もあってスケートのイメージもあるなど他県民としては思っています。威勢の良さや活気のある北国というイメージですが、その中にある地元の人の優しさとか温かさこそ是非この国体を機に知ってもらえるといいなという思いを込めました。
18	うみねこと潮風巡り 笑顔羽ばたく 八戸の火	八戸と言えはうみねこ！うみねこが飛び回ると潮の香りを遠くまで運んでくれる、そしてみちのく潮風トレイユもできうみねこを見ながら散歩ができるを掛け、さらにうみねこと自然で笑顔が広がる街だと思い付けました。
19	縄文の地より 命繋ぎし 悠久の火	こども達も馴染みのある八戸郷土かるたにも出てきます、合掌土偶を作った縄文の地からずっと繋がれてきた私たちの命を火に例えました。これからも命のバトンが繋がるように、国スポ・障スポのバトンも、炬火も悠久に繋がって欲しいという願いを込めました。
20	ごめの舞う まほろばの地で 繋ぐ絆の火	3.11の大震災で津波被害を受けた八戸ですが、15年の時を経て以前よりも防災意識の高まった街へと復活を遂げました。町のシンボルのうみねこ（ごめ）が舞う姿と勇壮に灯る炬火に人々の強さと絆の深さを込めました。
21	うみねこが集いにぎわう八戸の火	国スポをきっかけにしてうみねこのように八戸に来る人を増やし、八戸を活気のある町にしたい。

炬火名一覧

作品番号	炬火名	炬火名に込めた思い（命名理由）
22	舞い上がれ 煌めきを呼ぶ えぶりの火	青森で開催される国スポのテーマである『煌めき』を盛り込みながら、八戸の魅力の一つである『えんぶり』を掛け合わせ、国スポ・八戸市えんぶりという二つの炎が一緒になることでそれぞれがより大きく舞い上がるように盛り上げてほしいという思いを込めました。
23	港の街、幸せ灯す八戸の火	八戸は、「港の街」として有名だから、そこにさらに明るい希望や幸せが届きますようにと願いをこめた炬火名
24	合掌土偶祈り続ける煌めき縄文の火	スローガンが「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」にちなんで、世界文化遺産にとろろくされている是川の合掌土偶に選手の皆さんに頑張してほしい思いを合掌土偶に祈ってほしいから
25	えんぶり1組長い歴史を受けつぐ郷土の火	えんぶりは約800年の長い歴史を持つ芸なのでそれを受けついで長く伝わってほしいので書きました。
26	三社の祭八戸の豊穰願う祈りの火	八戸で行われる三社大祭の始まりは作物の豊作を願ってできました。豊穰は作物が実る「勝利が実る」という意味もこめ考えました。
27	千年も人々のねがい受けつぐ希望の火	千年も町の人のねがいが受けつがれてほしい
28	太陽の光、自然かがやく平和の火	青森は自然ゆたかで太陽の光でおいしいりんごがよくとれるとみんな笑顔ですごせると思うからです。
29	自然に満ち溢れ何年も続く縄文の火	八戸は自然が豊かで縄文が何年もつづくように!!

炬火名一覧

作品番号	炬火名	炬火名に込めた思い（命名理由）
30	八戸の 未来へつなげる 縄文の火	縄文の文化などを未来へという思いをこめました
31	自然あふれ縄文を残す永遠の火	ずっと自然豊かで縄文の歴史がずっと続いてほしい
32	青森のえんぶり皆でがんばり守り向くの火	・青森の国スポがえんぶりのようにもり上がってほしいから ・みんなでがんばってえんぶりを守ってほしいから
33	縄文を受けつぐ自然がキレイな八戸の火	八戸市は縄文が有名であり、自然の景色がきれいだと思ったからです。
34	八戸は、自然あふれ思いをつなぐ、八戸の火	八戸は自然が多いから、これからも、もっと自然がふえてほしいから。
35	八戸の光あふれる縄文の火	八戸の縄文のことを知ってほしいから
36	こころがもえるはちのへの火	炬火も燃えているから
37	絶対優勝心を燃やせとうしの火	絶対優勝できるように心を燃やすように本気でがんばってほしい

炬火名一覧

作品番号	炬火名	炬火名に込めた思い（命名理由）
38	土器がかがやき歴史あふれる希望の火	縄文時代から今まで希望をつなぐという理由
39	自然の日見守り続ける八戸市の火	自然がある八戸市は、みんなを見守り続けたいという思いをこめた炬火です。
40	北の地に広がる縄文の火	是川ってかんじだとおもったから
41	縄文の光あふれる八戸の火	八戸の是川が縄文土器などで有名だからです。
42	自然豊かな縄文かがやく八戸の火	八戸には縄文が関係があるのでこの炬火名にしました。
43	未来へつなぐ 氷都の軌跡 海から拓く 縄文の火	八戸市はこれまで、国民体育大会・国民スポーツ大会をはじめ、多くのスケート競技会を行ってきた。「氷都」の歴史を未来へつなげたい。そして八戸は「海から拓けたまち」である。また炬火には是川などの縄文の人びとが、火を起こして土器や土偶・石器をつくり育んだ暮らしと文化にも思いを馳せた。
44	潮風が包む友情温もりて心に灯る八戸の火	緑映える種差海岸からの潮風が、列島と参加者、関係者の皆様を温かく包み、思い出熱い大会となります様に願いを込めました。
45	海原を明るく照らし 進路を開く 八戸の火	